



2026年7月31日

各 位

会 社 名 日 進 工 具 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 後藤 弘治
(コード番号: 6157 東証スタンダード)
問合せ先 取締役経営企画室長兼財務経理部長 戸田 寛
(TEL. 03-6423-1135)

業績予想及び配当予想に関するお知らせ

2026年5月14日に公表いたしました「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりましたが、2027年3月期の業績予想及び配当予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想

(1) 2027年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値(2026年4月1日～2026年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想(B)	5,420	990	1,010	650	27.65
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2026年3月期第2四半期)	4,591	761	783	543	21.81

(2) 2027年3月期通期連結業績予想数値(2026年4月1日～2027年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想(B)	10,570	1,170	1,180	780	33.16
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2026年3月期)	9,494	1,959	2,011	1,442	58.38

(3) 2027年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値(2026年4月1日～2026年9月30日)

	売上高	経常利益	中間純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想(B)	4,600	910	640	27.23
増減額(B-A)	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2026年3月期第2四半期)	3,896	676	495	19.85

(4) 2027年3月期通期個別業績予想数値(2026年4月1日～2027年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—
今回修正予想(B)	9,000	930	650	27.63
増減額(B-A)	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2026年3月期)	8,277	1,623	1,207	48.88

(5) 公表理由

2027年3月期の業績予想につきましては、第1四半期の業績及び現時点で入手可能な情報を踏まえ、算定しております。

当社グループ製品の主原料であるタングステン価格は引き続き高水準で推移しており、原価計算に移動平均法を採用していることから、その影響は下期にかけて段階的に製造原価へ反映される見込みです。また、販売面では、8月の製品価格改定を前に国内外の一部販売先で在庫積み増しの動きがみられたことから、その反動により販売数量は第2四半期以降減少することを前提としております。このため、下期の業績については慎重に見積もり、通期業績予想を策定しております。

今回の業績予想は、8月に実施する価格改定の効果を織り込む一方で、販売条件の見直しや販売施策の効果など、現時点で合理的な見積もりが困難な要素については織り込まず、保守的な前提で算定しております。今後の原材料価格や市場環境、価格改定の浸透状況等を踏まえ、業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

当社グループが現在置かれた状況につきましては、タングステン価格の急激な上昇により短期的には収益圧迫を余儀なくされるものの、中長期的には小径工具に対する需要は国内外で引き続き堅調に推移するものと考えております。今後は、新製品投入による付加価値向上に加え、自社技術を生かした新たな市場開拓や適切な価格設定を通じて収益性の回復を図り、中長期的な成長軌道への復帰を目指してまいります。

2. 配当予想

(1) 公表内容

	1株当たり配当金(円)		
基準日	第2四半期末	期 末	合 計
前回発表予想 (2026年5月14日公表)	—	—	—
今回修正予想	15円00銭	15円00銭	30円00銭
(ご参考)前期実績 (2026年3月期)	15円00銭	15円00銭	30円00銭

(2) 公表理由

当社は、株主の皆様への利益還元について、業績動向を踏まえつつも、中長期的な企業価値向上と安定的な配当の継続を基本方針としております。

2027年3月期は、タングステン価格の急激な上昇による原材料費の増加等により、前期比で一時的に減益となる見込みですが、中長期的には市場成長に加え、新製品戦略及び価格改定による収益力の回復を見込んでおります。また、当社は健全な財務基盤を維持しており、十分な手元資金を確保しております。

以上を総合的に勘案し、株主の皆様への安定的な利益還元を重視する観点から、2027年3月期の年間配当は前期と同額の1株当たり30円(中間配当金15円、期末配当金15円)を予想しております。

以上